



2021年3月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

2021年1月28日

上場会社名 株式会社アドバンテスト
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員管理本部長 (氏名) 藤田 敦司

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	222,174	7.0	46,178	2.0	43,168	9.6	36,518	5.7	36,518	5.7	35,081	5.0
2020年3月期第3四半期	207,668	5.0	47,131	13.5	47,757	14.3	38,712	19.4	38,712	19.4	36,945	29.7

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2021年3月期第3四半期	184.91	183.91
2020年3月期第3四半期	195.40	194.62

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	362,706	238,674	238,674	65.8
2020年3月期	355,777	231,452	231,452	65.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		41.00		41.00	82.00
2021年3月期		38.00			
2021年3月期(予想)				57.00	95.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	305,000	10.5	67,000	14.1	64,000	9.3	61,500	14.9	61,500	14.9

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	199,566,770 株	2020年3月期	199,566,770 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	3,348,327 株	2020年3月期	1,152,069 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	197,495,822 株	2020年3月期3Q	198,111,619 株
------------	---------------	------------	---------------

(注)期末自己株式数には、業績連動型株式報酬 信託口が保有する当社株式(2021年3月期3Q:694,832株、2020年3月期:537,830株)が含まれております。また業績連動型株式報酬 信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10
2020年度第3四半期決算(連結)の概要	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	1,971	2,207	12.0%
売上高	2,077	2,222	7.0%
営業利益	471	462	△2.0%
税引前四半期利益	478	432	△9.6%
四半期利益	387	365	△5.7%

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大によって、深刻な影響を受けました。景気回復に向けた取り組みが感染防止と経済活動のバランスに腐心しつつ各国で進められたものの、2020年の世界経済成長率は歴史的な落ち込みとなったと予想されています。

一方で半導体試験装置市場においては、コロナ禍の中でもリモートワークの普及や巣ごもり消費が拡大したことで、データセンターやゲーム機器関連の半導体用試験装置の需要が堅調に推移しました。自動車や産業機器関連ではコロナウイルス封じ込めのための都市封鎖や人的移動制限の影響下、春先より需要停滞が続きましたが、最終製品の生産回復とともに、関連顧客の投資意欲は第3四半期に改善しました。スマートフォン関連では、スマートフォン高機能化に伴う試験装置需要増の流れと、米国の規制強化に端を発した中国スマートフォン関連サプライチェーンにおける余剰能力発生との動きとが交錯しましたが、スマートフォンメーカー間の活発な競争を背景に、余剰能力は当社想定を超える速度で解消に向かいました。

これらの結果、受注高は2,207億円(前年同期比12.0%増)、売上高は2,222億円(同7.0%増)となりました。利益面については、前年同期比で売上総利益率の良い製品群の割合が減少したことで、営業利益は462億円(同2.0%減)となりました。なお当第3四半期連結累計期間の営業利益には、一過性の利益である事業譲渡益約25億円が含まれます。米ドルに対するユーロ高の進行に伴う為替差損の増加などで、税引前四半期利益は432億円(同9.6%減)、四半期利益は365億円(同5.7%減)となりました。当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが107円(前年同期109円)、ユーロが122円(同122円)となりました。海外売上比率は95.4%(前年同期94.9%)です。

セグメントの業績は次のとおりです。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	1,404	1,540	9.7%
売上高	1,522	1,421	△6.7%
セグメント利益	521	411	△21.1%

当部門では、リモートワークの拡大や巣ごもり消費の伸びを背景に、HPC(ハイ・パフォーマンス・コンピューティング)用のSoC半導体向けの需要が堅調に推移しました。メモリ半導体用試験装置も、サーバーやゲーム機器用のメモリ半導体向けを中心に好調な販売が続きました。また米中摩擦先鋭化の影響下、スマートフォン関連のSoC半導体試験装置の売上が上期に弱含みましたが、スマートフォンの高性能化とスマートフォンメーカー間の活発な競争がイメージ・センサー、ディスプレイ・ドライバーIC、アプリケーション・プロセッサなどの試験需要を喚起したことで、SoC半導体試験装置の受注はこれら品種向けを中心に第2四半期以降好調に推移しました。

以上により、当部門の受注高は1,540億円(前年同期比9.7%増)、売上高は1,421億円(同6.7%減)、セグメント利益は411億円(同21.1%減)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位:億円)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	236	295	25.2%
売上高	261	301	15.5%
セグメント利益	△16	48	—

当部門では、EUV露光技術の普及を背景にナノテクノロジー製品の受注が伸びました。メモリ半導体用試験装置需要が伸長する中、事業関連性の高いデバイス・インタフェース製品の販売も伸びました。またプローブ・カード事業譲渡益として約25億円を当事業のセグメント利益に計上しました。

以上により、当部門の受注高は295億円(前年同期比25.2%増)、売上高は301億円(同15.5%増)、セグメント利益は48億円(同64億円改善)となりました。

<サービス他部門>

(単位:億円)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	331	376	13.6%
売上高	294	505	71.9%
セグメント利益	37	81	2.2倍

当部門では、データセンター投資の活発化やスマートフォンの高性能化を背景に、2020年1月に買収した米Essai社の製品やS o C用システムレベル・テスト製品などを扱う、システムレベル・テスト事業が全般的に好調に推移しました。

以上により、当部門の受注高は376億円(前年同期比13.6%増)、売上高は505億円(同71.9%増)、セグメント利益は81億円(同2.2倍)となりました。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期末の資産合計は、現金および現金同等物が162億円減少したものの、その他の金融資産が83億円、営業債権およびその他の債権が76億円、棚卸資産が58億円それぞれ増加したことなどにより前年度末比69億円増加し、3,627億円となりました。負債合計は、その他の金融負債が25億円、繰延税金負債が24億円それぞれ増加したものの、営業債務およびその他の債務が55億円減少したことなどにより前年度末比3億円減少し、1,240億円となりました。なお、その他の金融資産の増加は主に投資有価証券の評価によるものであり、その他の金融負債の増加は主に預り金の増加によるものであります。また、資本合計は2,387億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比0.7ポイント増加し、65.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より162億円減少し、1,115億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益432億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の増加(△79億円)、棚卸資産の増加(△58億円)に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、284億円の収入(前年同期は、539億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、130億円の支出(前年同期は、55億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得(△88億円)と資本性金融商品の取得(△68億円)および事業譲渡による収入(33億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、301億円の支出(前年同期は、173億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△154億円)と自己株式の取得による支出(△140億円)によるものであります。

(4) 今後の見通し

S o C半導体用試験装置は、米中対立激化の影響のもと、上期は前年度を下回る売上高が継続しましたが、スマートフォンメーカー間の競争活発化、スマートフォンの高性能化、自動車や産業機器の市況改善の流れを受け、第3四半期に引き続き、第4四半期の売上高は10月時点の見通しを大きく上回る見込みです。

メモリ半導体用試験装置については、メモリ半導体の高性能化やメモリ需給状況の好転期待を背景とする顧客各社からの堅調な引き合いを、第4四半期に見込んでいます。

これら主力事業の需要見通しおよび第3四半期連結累計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を以下のとおりに修正します。受注高は2020年10月時点の2,600億円から3,100億円へ、売上高は2,750億円から3,050億円へ、営業利益は525億円から670億円へ、税引前利益は509億円から640億円へ、当期利益は425億円から615億円へ、それぞれ上方修正します。当年度第4四半期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが105円、ユーロが125円です。また当年度を最終年とする中期経営計画の進捗ならびに今後の業績見通し等を踏まえ、将来一定期間に実現する可能性が高い繰延税金資産を当年度第4四半期に計上する見込みです。上記の予想にはその見通しが含まれています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響については、コロナ禍により自動車や産業機器関連の半導体試験装置投資の停滞が長期化した一方、リモートワーク拡大などを背景にデジタル機器関連の半導体で試験装置需要の活性化が見られました。当社事業環境におけるこれらの動きを総合すると、当連結累計期間の業績においてはプラス方向の影響となったと認識しています。

ただし新型コロナウイルス感染症に収束の兆しが見えない中、一部の地域で人的移動制限を強化する動きが再び生じるなど、世界経済の不確実性は依然として高い状態が継続しています。これを踏まえ、当社は、外部環境の変化に機動的に対応することを当面の最優先事項とし事業活動に臨みます。

他方で、新型コロナウイルス感染症の拡大は、デジタル・トランスフォーメーションを加速する契機となっています。5G通信を中核としたデジタル・トランスフォーメーションは、高性能かつ高い信頼性を備えた半導体の需要を中長期にわたり拡大するものです。そして、より高付加価値な半導体試験ソリューションに対する顧客ニーズの高まりを通じ、当社の事業機会もまた中長期にわたって拡大すると予想しています。

この長期的な視座に立ち、当社はこれまで、半導体のウエハ・レベル試験やパッケージ・レベル試験といった既存事業の強化のみならず、システム/モジュール・レベルでのテスト・ソリューション分野への参入や、半導体のテストデータを半導体プロセス解析などに活用するデータ・アナリティクス分野への展開を進めてきました。今後もこれら成長施策の手を緩めず、2027年度を最終年度とする中長期経営方針「グランドデザイン」で目標としたベース・シナリオ売上高4,000億円の達成に向けて取り組んでまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	127,703	111,494
営業債権およびその他の債権	46,426	54,026
棚卸資産	58,943	64,727
その他の流動資産	6,871	6,994
(小計)	239,943	237,241
売却目的で保有する資産	199	—
流動資産合計	240,142	237,241
非流動資産		
有形固定資産	35,072	38,518
使用権資産	11,184	9,743
のれんおよび無形資産	51,025	51,542
その他の金融資産	2,867	11,120
繰延税金資産	15,351	14,245
その他の非流動資産	136	297
非流動資産合計	115,635	125,465
資産合計	355,777	362,706
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	46,660	41,119
未払法人所得税	7,793	5,514
引当金	3,335	3,495
リース負債	2,275	2,307
その他の金融負債	1,892	4,436
その他の流動負債	8,582	10,000
流動負債合計	70,537	66,871
非流動負債		
リース負債	9,013	7,597
退職給付に係る負債	40,622	42,976
繰延税金負債	1,563	3,979
その他の非流動負債	2,590	2,609
非流動負債合計	53,788	57,161
負債合計	124,325	124,032
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	43,550	44,070
自己株式	△4,179	△16,089
利益剰余金	159,803	179,852
その他の資本の構成要素	△85	△1,522
親会社の所有者に帰属する持分合計	231,452	238,674
資本合計	231,452	238,674
負債および資本合計	355,777	362,706

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	207,668	222,174
売上原価	△87,889	△102,364
売上総利益	119,779	119,810
販売費および一般管理費	△72,509	△76,253
その他の収益	224	2,736
その他の費用	△363	△115
営業利益	47,131	46,178
金融収益	743	858
金融費用	△117	△3,868
税引前四半期利益	47,757	43,168
法人所得税費用	△9,045	△6,650
四半期利益	38,712	36,518
四半期利益の帰属 親会社の所有者	38,712	36,518
1株当たり四半期利益		
基本的	195.40円	184.91円
希薄化後	194.62円	183.91円

(第3四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	69,917	78,072
売上原価	△30,509	△37,888
売上総利益	39,408	40,184
販売費および一般管理費	△24,940	△25,000
その他の収益	120	90
その他の費用	△335	△33
営業利益	14,253	15,241
金融収益	267	781
金融費用	△42	△2,174
税引前四半期利益	14,478	13,848
法人所得税費用	△2,538	△1,821
四半期利益	11,940	12,027
四半期利益の帰属 親会社の所有者	11,940	12,027
1株当たり四半期利益		
基本的	60.21円	61.29円
希薄化後	59.92円	60.97円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	38,712	36,518
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	△17	664
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,750	△2,101
税引後その他の包括利益	△1,767	△1,437
四半期包括利益	36,945	35,081
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	36,945	35,081

(第3四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	11,940	12,027
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	0	997
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,422	△674
税引後その他の包括利益	2,422	323
四半期包括利益	14,362	12,350
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	14,362	12,350

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2019年4月1日 残高	32,363	43,018	△6,262	125,927	3,685	198,731	198,731
四半期利益				38,712		38,712	38,712
その他の包括利益					△1,767	△1,767	△1,767
四半期包括利益	—	—	—	38,712	△1,767	36,945	36,945
自己株式の取得			△1,122			△1,122	△1,122
自己株式の処分		△299	3,044	△1,116		1,629	1,629
配当金				△16,439		△16,439	△16,439
株式に基づく報酬取引		522				522	522
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				111	△111	—	—
所有者との取引額等合計	—	223	1,922	△17,444	△111	△15,410	△15,410
2019年12月31日 残高	32,363	43,241	△4,340	147,195	1,807	220,266	220,266

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2020年4月1日 残高	32,363	43,550	△4,179	159,803	△85	231,452	231,452
四半期利益				36,518		36,518	36,518
その他の包括利益					△1,437	△1,437	△1,437
四半期包括利益	—	—	—	36,518	△1,437	35,081	35,081
自己株式の取得		△47	△13,947			△13,994	△13,994
自己株式の処分		△207	2,037	△867		963	963
配当金				△15,602		△15,602	△15,602
株式に基づく報酬取引		774				774	774
所有者との取引額等合計	—	520	△11,910	△16,469	—	△27,859	△27,859
2020年12月31日 残高	32,363	44,070	△16,089	179,852	△1,522	238,674	238,674

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	47,757	43,168
減価償却費および償却費	6,729	8,470
営業債権およびその他の債権の増減額(△は増加)	10,906	△7,872
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,520	△5,763
営業債務およびその他の債務の増減額(△は減少)	△6,323	△5,115
製品保証引当金の増減額(△は減少)	18	156
預り金の増減額(△は減少)	1,705	2,144
前受金の増減額(△は減少)	1,739	1,099
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,129	1,201
その他	△879	△166
小計	64,301	37,322
利息および配当金の受取額	703	128
利息の支払額	△118	△136
法人所得税の支払額	△11,007	△8,879
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	53,879	28,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	111	—
資本性金融商品の取得による支出	—	△6,817
負債性金融商品の取得による支出	△548	—
有形固定資産の取得による支出	△4,903	△8,818
無形資産の取得による支出	△295	△571
事業譲渡による収入	—	3,295
子会社の取得による支出	—	△156
その他	98	60
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△5,537	△13,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	1,630	989
自己株式の取得による支出	△1,122	△14,022
配当金の支払額	△16,217	△15,392
リース負債の返済による支出	△1,549	△1,697
その他	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△17,258	△30,122
現金および現金同等物に係る換算差額	△1,238	△1,515
現金および現金同等物の純増減額(△は減少)	29,846	△16,209
現金および現金同等物の期首残高	119,943	127,703
現金および現金同等物の四半期末残高	149,789	111,494

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	152,208	26,070	29,390	—	207,668
セグメント間の売上高	10	—	9	△19	—
合計	152,218	26,070	29,399	△19	207,668
セグメント利益(調整前営業利益)	52,056	△1,581	3,732	△6,438	47,769
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△638
営業利益	—	—	—	—	47,131
金融収益	—	—	—	—	743
金融費用	—	—	—	—	△117
税引前四半期利益	—	—	—	—	47,757

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	141,531	30,110	50,533	—	222,174
セグメント間の売上高	520	—	—	△520	—
合計	142,051	30,110	50,533	△520	222,174
セグメント利益(調整前営業利益)	41,069	4,773	8,095	△6,740	47,197
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△1,019
営業利益	—	—	—	—	46,178
金融収益	—	—	—	—	858
金融費用	—	—	—	—	△3,868
税引前四半期利益	—	—	—	—	43,168

前第3四半期連結会計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	49,292	10,084	10,541	—	69,917
セグメント間の売上高	—	—	8	△8	—
合計	49,292	10,084	10,549	△8	69,917
セグメント利益(調整前営業利益)	15,700	△28	1,615	△2,795	14,492
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△239
営業利益	—	—	—	—	14,253
金融収益	—	—	—	—	267
金融費用	—	—	—	—	△42
税引前四半期利益	—	—	—	—	14,478

当第3四半期連結会計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	52,032	9,729	16,311	—	78,072
セグメント間の売上高	186	—	—	△186	—
合計	52,218	9,729	16,311	△186	78,072
セグメント利益(調整前営業利益)	16,257	1,126	1,130	△2,856	15,657
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△416
営業利益	—	—	—	—	15,241
金融収益	—	—	—	—	781
金融費用	—	—	—	—	△2,174
税引前四半期利益	—	—	—	—	13,848

(注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2. 株式報酬費用は、ストック・オプションおよび業績連動型株式報酬の費用であります。

3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。

4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

6. 当第3四半期連結累計期間におけるメカトロニクス関連事業のセグメント利益には、2020年7月30日にプロード・カード事業を譲渡したことによる事業譲渡益2,451百万円が含まれています。

2020年度第3四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度実績						2020年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	2,878	615	641	951	48.2%	2,207	12.0%	(2,600) 3,100	7.7%
受注残	910	857	725	895	23.4%	895	39.2%	(760) 960	5.5%

(注)上段()の数値は、2020年10月29日発表時の予想であります。

2. 損益

(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度実績						2020年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	2,759	667	774	781	0.9%	2,222	7.0%	(2,750) 3,050	10.5%
売上原価	1,194	287	358	379	6.1%	1,024	16.5%	-	-
販売費および一般管理費	978	245	268	249	6.4%	762	5.2%	-	-
その他の収益・費用	0	0	26	0	97.7%	26	-	-	-
営業利益 (売上高比率)	587 (21.3%)	135 (20.2%)	174 (22.6%)	153 (19.5%)	12.8%	462 (20.8%)	2.0%	(525) 670 (22.0%)	14.1%
金融収益・金融費用	1	6	10	14	32.2%	30	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	586 (21.2%)	129 (19.3%)	164 (21.2%)	139 (17.7%)	15.7%	432 (19.4%)	9.6%	(509) 640 (21.0%)	9.3%
法人所得税費用	51	23	25	19	26.7%	67	26.5%	-	-
当期利益 (売上高比率)	535 (19.4%)	106 (15.8%)	139 (18.0%)	120 (15.4%)	13.7%	365 (16.4%)	5.7%	(425) 615 (20.2%)	14.9%

(注)上段()の数値は、2020年10月29日発表時の予想であります。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	3,558	3,591	3,613	3,627	0.4%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,315	2,342	2,355	2,387	1.3%
親会社所有者帰属持分比率	65.1%	65.2%	65.2%	65.8%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2019年度実績			2020年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	41.00	41.00	82.00	38.00	57.00	95.00

(注)配当は半期の連結業績をベースとした利益配分を行うこととしており、半期の連結配当性向30%を指標としております。